

戦争の 爪痕を歩く

八王子市内にはいまも数多くの戦争遺跡が残されています。それらは時代を超えて私たちに戦争の惨禍を伝えてくれます。身近な場所で起きた悲劇を見つめ、平和の意味を問い合わせてみましょう（遺跡はどれも歴史的な財産です。また私有地に残されたものもあります。マナーを守って歩くようにしましょう）。

八王子の戦争遺跡マップ



イ
大和田橋

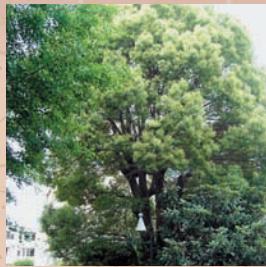
約300ヶ所の焼夷弾跡が残されていたが、1997年の補修工事で歩道上17ヶ所が残された。透明板で覆つた焼夷弾跡と弾痕を示した色違いのスタイルがある。



●大和田橋 大和田町

口
クスノキ

空襲で焦土と化した南多摩高校の校庭で翌年春、クスノキだけが若葉を芽吹かせた。勇気づけられた教員や生徒らが校舎復興に全力を注いだ。2010年に記念碑建立。



●南多摩高校
明神町4-20-1

ハイチヨウ並木

甲州街道の追分から西八王子駅入口までの間に幹のひどく傷んだイチヨウが数十本ある。空襲で焼けて傷んだ跡で、現在は発泡ウレタンで手当されている。



●甲州街道 追分～西八王子駅入口

ニ
ラ
ン
ド
セ
ル
地
藏

7月8日の空襲で亡くなつた
神尾明治君の母親が相即寺の
地蔵堂の中から息子の顔に一
番似ている地蔵にランドセル
をかけた（表紙写真）。寺の
門には銃弾の貫通した穴あり。



●相即寺
泉町1132

木
陸軍幼年学校

陸軍将校養成のため1944年に移転開校。空襲でほぼ全焼。1987年犠牲者の供養のため観音像が職員生徒徒志により建立。「建武台の碑」も。



●東照寺
長屋町1267

八王子空襲で大きな被害を受けた浅川地区。焼け野原となつた後、自然と火の手が消えてこの祠は残つた。昨年、焼け跡の残る柱をそのまま使



●金子商店
高尾町1655

へ
お稲荷さま

1950年、荒井踏切東側に上長房青年団が「戦災死者供養塔」を建立。1984年に「いのほなトンネル列車銃撃遭難者慰靈の会」が結成、毎年8月5日に慰靈の集い開催。



●バス停「蛇滝口」付近 裏高尾町

ト
湯の花トンネル

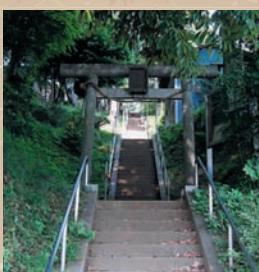
浅川駅（現・高尾駅）は7月8日に機銃掃射を受け、貨車1両破損、重傷者1名、軽傷者3名を出した。現在も1番線ホームの鉄柱（柱番号31と33）に銃弾の跡がある。



● JR 中央線高尾駅
高尾町

チ
高尾駅

陸軍幼年学校の雄健神社の社殿は、八王子空襲で焼失した東浅川町の十二社神社に、戦後移設された。奥殿は春の例祭（5月第2土曜日）で開帳。



●十二社神社
東浅川町656

リ十二社神社

身元不明、引き取り手のない
戦災死没者50体の遺体を埋
葬。現在はお盆、お彼岸に市
の社会福祉協議会と老人クラ
ブ連合会が戦災死没者の法要
を行っている。



● 緑町霊園
緑町222

又 戰災死沒者之墓

A tall, dark, rectangular monument with a vertical grain pattern, standing on a low, reddish-brown base. The base features a small square opening and a row of circular indentations. The monument is set against a backdrop of tall evergreen trees and a clear sky.

◆西南の役から太平洋戦争までの戦死者の靈を祀るため、1965年に建立された富士森公園の慰靈碑

▼同じく富士森公園内にある
「平和の像」



※今回は空襲関連の戦跡の紹介にとどめ、地下壕や
旧町村の慰靈碑は地図内に示すのみとしました

